

働くことで 社会人になるために必要なことを学ぶ

校長 西尾 英憲

10月10日から12日までの3日間、2年生が町内の21の事業所などで職場体験を行いました。

お店では、商品の梱包や包装、駐車場の掃除や接客など。工場では、製品作り、製品のバリとり（不要なところを削る）、傷のチェックをする製品検査など。福祉施設では、訪問者の対応や介助、清掃やベッドメイキングなど。生徒ができる仕事を用意していただき、サポートを付けて頂きながら体験することができました。

一緒に作業をしながら、「こう持つと怪我をしないよ」「いいね」「お客さんのここに立つといいよ」「ここをよく見てね」「もっと声を出すといいね」「笑顔で対応しよう」といった声をかけや、ガイダンスなどの時に、下の文のような働く時の心掛けや仕事に対する思いを話して頂き、取り組むことができました。



- お客様がその商品を受け取ったときに、どんな気持ちになるのかを想像して、常に最高の品質のものを届けたいです。だからどの工程も大切なのです。
- この製品が壊れると多くの方に迷惑をかけてしまいます。高い品質が求められます。
- またここに来たいと思ってもらえるように、場を整え、言葉かけをします。
- 自分の仕事だけを知っているのはダメで、全体の仕事をみることが必要です。
- 常に美しく整えています。できないと、怪我をしますし不良品につながります。

仕事に携わっている方々の、見えない相手への気配り、心配りと思いやりの深さ、そして想像力、任された仕事をミス一つなくやり抜く思いの強さと技術力、常に美しく保つ意識の高さと行動力などに体験を通して触れられたことは、「面倒くさい」「見つからなければいい」などの自分の気持ちだけを優先する傾向にある生徒達にとって、大切で貴重な学習となりました。

かけて頂いた言葉の中には、目的に合わせた動きを考えること、周りの様子をよく見ることに、自分の立ち居振る舞いが相手にどんな印象を与えるのかを考えることなど、日々意識をすることでよりよくなるものがありました。中学校、家庭、地域で意識させていきたいです。地域貢献活動で生徒達がお世話になる場面でも、こうした点から声かけなどをお願いします。職場体験学習にご協力を頂いた皆様、本当にありがとうございました。

第5期 「組織でレベルアップ」

後期生徒会執行部の会長：安藤光佳莉さん、副会長：山田望美さん、書記：大内巴奈さん、書記：大嶋博哉さんに決まりました。選挙を通して生徒たちは、学校生活を見つめ直し、何をレベルアップするか、全校一人一人が考えることができました。10月26日の生徒総会で目標や計画を確認して、第6期がスタートします。

選挙での公約

- ◇ 常によりよいものを求め続ける明中
- ◇ 地域に誇れる いつでもどこでも さわやかな挨拶が 飛び交う明中
- ◇ 語り合える授業の強化
- ◇ 地域の一員として貢献する明中
- ◇ 一人一人が輝く 誇れる合唱
- ◇ 前期を超す自治の生徒会